

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公開番号】特開2002-327752(P2002-327752A)

【公開日】平成14年11月15日(2002.11.15)

【出願番号】特願2001-135837(P2001-135837)

【国際特許分類第7版】

F 16 C 33/34

F 16 C 13/02

F 16 C 19/28

【F I】

F 16 C 33/34

F 16 C 13/02

F 16 C 19/28

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月5日(2004.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外輪と、前記外輪と軸との間において転動自在に、2列以上で配置された複数のころと、を有するバックアップロール用の軸受装置において、

軸線方向で外側にある第1列のころにおける軸線方向外側の端部のクラウニング量は、前記第1列のころより軸線方向で内側にある第2列のころにおける、前記端部と同方向側の端部のクラウニング量よりも大きくなっている軸受装置。

【請求項2】

前記第1列のころのクラウニング量は、前記第2の列のころのクラウニング量に比べて、1.25~2倍である請求項1に記載の軸受装置。

【請求項3】

前記ころの2次元投影形状において、前記ころの接触部に接続する第1クラウニング部の曲率をR1とし、前記第1クラウニング部に接続する第2クラウニング部の曲率をR3とし、前記第2クラウニング部と前記ころの端面とを接続する面取り部の曲率をR2としたときに、以下の式が成立する請求項1又は2に記載の軸受装置。

R1 > R3 > R2 (1)

0.005 × R1 < R3 (2)

0.1 × R1 < R3 (3)